



対話で明るい町づくり

町政懇談会 特集号

町政懇談会特集号をお届けいたします。本年度の町政懇談会は18回目、2年越しの開催で町民の関心も高かったようです。

懇談会はいずれも午後に開催しました。各会場とも町長が町行財政の概要について説明を行い懇談にうつりました。

それぞれの会場でだされた意見、質疑、要望などのなかで即答できるものはその場で回答しましたが、問題によっては役場にもちかえり、検討を加えたものもあります。

総務課関係

問 町が主催する文化行事には参加者を町のマイクロバスで送迎できないか。(寺迫)

答 消防団の出初式や老人スポーツ大会においては、遠隔地に限ってマイクロバス等を使っておりませんが、文化行事にもとなると参加者も多数になりますので困難です。

問 行政改革の成果について聞きたい。(寺迫)

答 ①コンピューターの利用は適切か。②職員の数及び給与の水準はどうか。③議員の定数は他と比較してどうか。

答 ①町の電算は、今年四月から財務会計事務も手



▶ 役場電算室

かけており、適切に運用しています。

問 ②職員数は、全国の類似団体との比較でも、平均指数一〇〇に對して、九四・〇八と低く、給与も国家公務員の一〇〇に對して、九七・一で適正であると思

答 ③議員の定数は法定定数二十二人に對して十六名です。

問 児洗地区に接岸道路を設置してもらいたい。(越表)

答 ダムとの関係もあるのでまず県と協議して方針を決めたいと思います。

問 防犯灯の設置補助はないのか。(越表)

答 補助の制度はありません。電気料については、二分の一を補助しています。

問 役場のサイレンの音が大きいため近所の住民は迷惑している。音楽サイレンに替えてはできないか。(小野田)

答 設置の方向で研究します。

問 自治宝くじを東郷町内で売ることができないのか。(小野田)

答 調査して回答します。

問 町のマイクロバスを広く町内の民主団体育成、青年スポーツクラブの育成のため

めに利用させて欲しい。(羽坂)

答 町のマイクロバスは道路運送法に規定する家用自動車であり、自づからの業務に利用する以外の使用については制限があり、上部機関からの厳しい指導もあつて一定の基準の範囲でしか使用を許可しておりません。

問 住民票、印かん証明等の窓口事務の支所を寺迫で開設できないか。(寺迫)

答 可能性の問題は別にして財政上の事をはじめとして困難な事情がたくさんあります。

問 消防施設、接岸道路の設置を願いたい。(河川改修のため取付部分がなくなっている。)(田野)

答 現地を調査し検討します。

問 防犯灯の設置、中・高校生の下校が遅いので防犯上の配慮が必要である。(仲野原)上村間に二、三ヶ所を。(福瀬)

答 事情はよく理解できますが、街灯を町が設置することは今のところ考えていません。ただし、九州電力が、ふれあい月間中のサービス事業として実施する場合もあると聞いてるので、交渉を進めてみます。なお、街灯の電気料金について

は、町が二分の一を補助しております。

問 水道料金、税金の納付を貯金からの振替え納付はできないか。(坪谷)

答 庁議で検討し回答します。

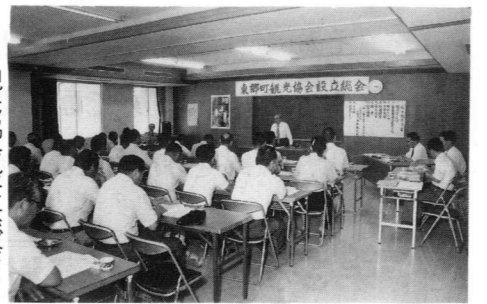
問 各課の職員配置は住民サービスを中心に考えてもらいたい。(1)受付窓口でのサービスが悪い。(2)誰に聞いたらよいかわからない。(3)きめ細かな配慮を。(坪谷)

答 職員の配置は適切に行っているつもりですが、問題があればその都度お聞かせ下さい。職員の接遇については常に指導しておりますが、更に意識の改善に努めます。

企画財政課関係

問 観光の振興と宣伝を積極的にやるべきではないか。(坪谷外)

答 本町は美しい自然環境、若山牧水の生家、記念館多くの史跡、文化財を有しております。また、伝統芸能の保存活動も活発に行なわれています。こうした施設や資源を生かし、町づくりと一体となった観光施策をすすめるため、行政と民間が合同して東郷町観光協会を設



▶ 観光協会設立総会

立しました。今後は、観光資源の開発整備と観光事業の振興に努力してまいります。

問 紀産産業が新会社を日向市に立地した。また、児湯食鳥の処理場、マツダ自動車等の企業誘致はどうなっているか。(福瀬外)

答 企業誘致は大変重要なことなので、積極的に取り組んでいるところです。

問 町内の企業との懇談会を開いて情報の交換等はしていますが、紀産産業の日向市進出は企業経営上の重要問題だと理解しています。

答 また、児湯食鳥、マツダ自動車等についても交渉を続けていますが、なかなか厳しいものがあります。

年水質検査を行っています。今、ところ河川等の水質基準に定められた数値を上廻り、環境上害があると思われるものは検出されていません。

また、使用済み乾電池の処理については、町としては環境汚染しないために収集処理を行って居ります。不用になった物は役場(住民課)へ持参して下さい。

▶ 羽坂不燃物投棄場



税務課関係

問 町税の滞納状況と今後の対策について。(田野、福瀬、寺迫、迫野内)

答 昭和六十二年度決算における町税の滞納は、町民

問 児洗地区の給水施設について伺いたい。(越表)

答 児洗地区簡易給水施設は第三期山村振興農林漁業対策事業により計画しています。

問 国の事業費の枠の関係で、昭和六十三、六十四年度の二ヶ年間の事業になる見込みです。事業費はおおよそ四千万円位かかりそうです。

問 県北地区には空港もなく企業誘致にも支障をきたしている。空港調査はどうなっているのか。(福瀬)

答 県北十五市町村は、高速交通体系の空白地帯であります。県北地域に空港建設の可能性を調査研究するため、昭和六十二年四月に「県北航空システム研究会」を組織しました。空港適地、航空需要予測採算性等について、昭和六十三年度まで調査することになっています。

問 国道四四六号線羽坂バイパス開通後のバス路線はどうなるのか。朝夕二回位でもよいから通行するようにしてもらえないか。(田野)

答 羽坂バイパスは昭和六十四年二月から全線開通の予定であります。バスの通行は、地元にとって要望のあるところと思ひます。宮崎交通と協議をしてみます。

問 地域の活性化を図ってほしい。(迫野内)

答 本町の基幹産業である農林業の振興を図ることが活性化の基本であると思ひます。現状は大変厳しいものがあります。農産物の輸入自由化、最近では米まで自由化するよう求められております。農用地の集積基盤整備による省力化、良い品質を安く作る、農業機械の共同利用、機械銀行の活用等、合理化と近代化が必要ではないでしょうか。本町の自然条件等から考えますと、複合型の経営が望まれます。

問 公民館等の建設計画について。(寺迫、鶴野内)

答 公民館、集会所等の建設は、関係地区の皆さんの



▶ 鶴野内公民館

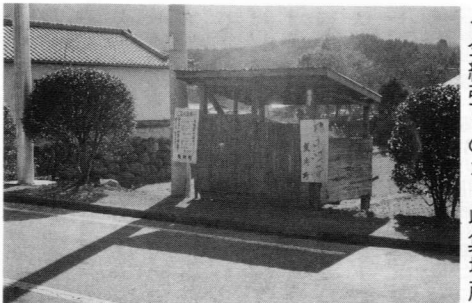
住民課関係

問 婦人検診の受診率の向上を図る必要があるのではないか。また、料金はどうか。(迫野内)

答 東郷町の住民検診は婦人検診にかぎらず、入郷の他町村に比較して低い受診率であります。「自分の健康は自分で守る。」の意志で今後多くの方の受診を期待したいと思ひます。なお、婦人検診の料金は二千三百円ですが、その内九百円を受診者に負担していただき、残りを国、県、町が負担しています。

問 ごみ収集場所に金網張りの箱等を設置できないか。(羽坂)

答 犬等がごみを喰いあさり散出させることがあり、これを防止するためごみ収集場に金網張りの箱等を設置しているところがありますが、これはすべてその地域の皆さんが設置したものであります。今後共



▶ 金網張りのゴミ収集場所

同意と熱意がなければ計画できません。また、町の財政事情もありますので、国の補助事業の指定をうけなければ建設は困難です。

問 火災後の不燃物について、火災の後の燃え残り物の処理場の設置はできないか。(羽坂)

答 火災後の不燃物については、羽坂の投棄場に捨てることですが、燃える物は焼却の方法しかありません。今のところ処理場の計画はありません。

問 羽坂に設置してある不燃物投棄場からの排水の水質基準、また、使用済み乾電池の処理はどうしているのか。(羽坂)

答 色々な物が捨てられています。そのため投棄場から流れ出る流水については、毎

税、固定資産税等の普通税が千四百十万円、保険税が八百二十万円、合計二千二百三十万円と成っており毎年滞納が増えています。滞納の原因はまず納税意欲の低下が考えられます。大半の納税者が納税組合に加入して組織ぐるみで一〇〇%納税に努力されていますが、組合未加入者の滞納が多くなっています。次いで企業倒産、個人破産による滞納も増えています。

この徴収対策として今年の六月に、町税滞納整理対策本部を設置し、機会をとらえて一斉徴収を実施することになりました。また、財産差し押さえ、給与、預金等の差し押さえを強化し、納税の公平を確保していきます。併せて納税組合未加入者の組織作りを行ない、自主納税意識の向上を図り、滞納をなくしていきたいと思っています。



問 徴収体制の整備(徴収専任職員の配置)について。現在徴収事務は固定資産係二名が担当しており、徴収専任の職員は設置していません。このことが滞納増加の一因になっていることは否めず、専任職員の設置の必要性は感じています。職員定数との関係もあり、全体的に検討しているところです。

農政課関係

問 水田農業確立対策について、①水田に転作のため人蔘、大根等栽培したいが、耕土が浅いため作ることができない。どうしたらよいか。②水田転作の未達成に対する処置はどうするのか。③農業は今後どうやったらよいか、生産者は苦しんでいる。(田野)

答 ①水田農業確立対策については、一〇〇%達成いたしました。御協力いただき感謝いたします。基盤整備田において耕土が浅いため根菜類が栽培できないことですが、全体的に耕土が浅いと言うことではないと思えます。野菜としては、葉菜類、果菜類を栽培されたらどうでしょうか。②転作の未達成については、農業関係の



後口迫地区ほ場整備

の経営農家の育成を図りたい。なお、町の推進作目であるピーマン、里イモ、ラッキョ、スイトコーン等の増反を図り、産地としての基盤を作り、流通面においては市場の信頼を確保するよう努力します。

問 農業者年金の件について年に一回の説明会があるが、権利の登記をするため非農地証明を出してもらった。ところが司法書士から周囲の写真をとるようにとの事であるが、詳しく説明してほしい。(下渡川)

答 農業者年金受給については、後継者、または第三者に対して経営を移譲することによって受給権が発生します。経営移譲にあたっては基準日(六十歳到達の一年前)現在の経営農地を全筆、または自留地(一〇アール未満保有できる)以外の農地について貸付けるか、所有権を移譲することになります。農用地の現況が、農地以外に利用されている農地については、事前に転用の手続きを完了する必要があります。従って手続きについては行政書士、または、農業委員会に問合せ下さい。なお、相続関係については司法書士に相談して下さい。



花嫁(婿)対策会議

問 後継者の花嫁(婿)問題は農村だけでなく、深刻な問題となっています。六十三年度から、農林業後継者花嫁(婿)相談員を各公民館より推せんをいただき、相談活動を行なうこととなりました。しかし、この活動は他の事と違い周囲の方々の協力と、家族の方または本人の熱意がなければ相談が進みません。一組の男女を結ばせる事は極めてむずかしい事であり、皆様の一層の御協力をお願いいたします。

問 農業は稲作の減反と、更に外庄による牛肉、オレシンの輸入自由化と厳しいものがある。①水田において、約三〇%転作であるが皆が野菜を作

厳しい状況の畜産物



土づくりをするにも大切な事と思えます。飼料用の藁については個人売買等も相当行なわれていますが、その他に農協で藁の斡旋をしていますので利用いただき、飼料作については現在でも良質のものがありますので、施肥等管理を十分されて増収を図り、対応していただきたいと思えます。③米の個人売買は自由化につながり、食糧制度の崩壊にもつながる危険性があると思えます。水田の転用については、使用目的が明確なものについてはやむを得ないと思われませんが、減反のために転用する事は問題があります。特に優良農地については、緊急な場合日本国民の食糧需給ができる態勢を保持している事が望ましいため、農用地として保有する必要があります。

林政課関係

問 町有林の雑木林や松林の改植造林を公団分取林として委託する考えはないか。(田野)

答 松くい虫の被害が出ていますので松林の改植を検討しており、あわせて公団分取造林についても検討しています。

問 町有林涼松の松くい虫対策について。(越表)

答 字涼松の町有林二十七・七ヘクタールのうち五ヘクタールは、六十三年度に処分し、後地造林について適植林の選木をしています。残りの約二十ヘクタールについても改植



耳川林業木材加工工場

すること計画を進めています。

問 老ノ股林道取付付近の舗装はできないか。(仲深)

答 県単舗装事業の申請をしましたが認定になりませんでした。県の補助が得られない場合は、原材料の提供という事で舗装してもらいたいと思えます。

問 耳川林業木材加工工場の木材搬入について。(羽坂)

答 県森連では現在の加工場の隣地十二ヘクタールを造成して、木材市場を開設する計画をしています。完成しますと、原木を直接搬入することができます。

開発整備課関係

問 町道野々崎、庵登線の水道管布設後の路面が悪いので、補修はできないか。(仲深)

答 調査を実施し通行に支障がある箇所については、応急処置で対応します。

問 大谷く出口線の改良工事中による全面交通止めの期間中に、国道三二七号切瀬付近の改良工事が始まり規制が通るに不便であった。日向土木の調整はできなかったのか。



大谷く出口線

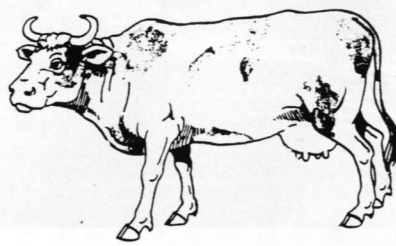
問 完成の時期は。(仲深)

答 この路線は継続事業で工事中であり、昨年の工事中に山崩れがあり相当の迷惑をかけたので、今年は早期に発注しましたが、その後、国道三二七号線の工事が始まり、一時期不便を生じました。交通制限については、日向土木からの事前の調整はありません。なお、六十三年度中に完成します。

問 大谷橋の架替え等について。(小野田)

答 眼鏡橋は橋台に亀裂があり現在重量制限しておりまた、地震等の災害時に危険なため取り壊し、その位置に架橋することになります。区民及び町文化財保存調査委員会の意見を聞き、架替えることにしま

問 町においては転作作物として、ピーマン、里イモ、スイトコーン、ラッキョ、飼料作物等を推進しております。価格の安定を図るため面積の拡大を図り、産地化することにより市場の信頼を得る事が流通上大切だと思えます。②肉用牛を飼養する事は経営面からも、また



した。なお、橋の架替工事は六十三、六十四年度の二ヶ年継続事業、国道から橋までの改良工事は六十五年事業になります。

問 小野田、大谷線の用地境界及び改良工事に係る用地の問題は解決しているのか。(小野田)

答 私有地との境界は、構造物工事着手前に立合って確認しています。また、改良工事に伴う用地買収は新橋の建設位置と、取付道路に一部変更を生じたので再度交渉しています。一部変更をしたのは、新橋の建設期間中は現橋を利用する予定でしたが、橋台の亀裂等の安全性の問題と地質ボーリングの結果、現橋附近が最適であることが判明したからです。

問 又江野地区国道の排水が悪い。(小野田)

答 日向土木事務所要望し以前に一部改良が行われましたが、依然として悪いところがあるので、今後とも引続き改良するよう要望していきます。

問 坪谷川河川遊泳場に濁りがある。(坪谷)

答 坪谷川の自然の流れをそのまま利用した河川遊泳場なので、大雨の後等汚濁します。また、流れを堰堤でせき止めている関係で浮流物の沈殿など多少の濁りを生じる場合があります。



大谷眼鏡橋

りますが、自然の流れをそのまま利用していますのでやむを得ません。

問 船戸線の舗装はどうなっているのか。(小野田)

答 町道認定基準に合致している延長二五七メートルは、生コン舗装済で町道に認定してありますが、これより先は生活道であり、生活道の生コン舗装の制度があるので、この方法で舗装することができません。

問 耳川の河川敷(大河原)の砂利採取はどうなっているのか。(小野田)

答 耳川河川敷の砂利採取は砂利採取の条件に提防の築堤が絡んでいたもので、六十二年二月三日日向土木事務所が町河川美化推進協議会に諮って関係者の意見を十分聞き、平常水位までの採取許可をしています。

問 耳川の河川敷(大河原)の砂利採取はどうなっているのか。(小野田)

答 耳川河川敷の砂利採取は砂利採取の条件に提防の築堤が絡んでいたもので、六十二年二月三日日向土木事務所が町河川美化推進協議会に諮って関係者の意見を十分聞き、平常水位までの採取許可をしています。

す。堤防の築堤工事は終了しており、砂利の採取量は、七万立方メートルで現在までに三万八千方メートルの採取が完了しています。

問 採取中に河川の汚濁が再三あったようで、このようなことがないよう地域住民が一体となった監視が必要だと思います。

答 県道八重原、延岡線の側溝の蓋かけは、どうなっているのか。(追野内)

答 日向土木事務所蓋かけの要望は毎年しているもので、今後も引続き要望します。

問 鶴野内、東下線の改良計画はどうか。(追野内)

答 年次計画で改良しており六十二年、六十三年事業で浅代峠の掘下げ工事を施行しています。今後、急カーブの切り取り、カーブミラーの設置等で危険箇所の解消を図ります。

問 東九州自動車道の構想はどうなっているのか。(追野内)

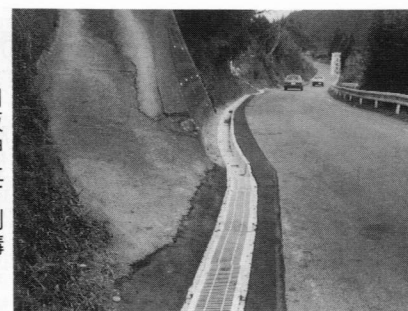
答 東九州の一体的発展を図る上からも是非必要な自動車道であり、関係する各県が一体となり官民挙げて最重要課題として取り組んでいます。六十四年一月に国土開発幹線自動車道建設審議会が開催される予定なので、この際基本計画に組み込まれるように働きかけています。

ます。何としてもこの基本計画の中に組み込まれて早期に着工するよう、関係機関に強く働きかけて行きます。

問 町議会にも東九州自動車道誘致特別委員会が六月議会で設置され、各方面に誘致の働きかけをしています。

答 町道で他の地区にもこのような落石の危険箇所があるが、コンクリートの吹付けまたは防石ネットの工法で落石の防止を施行するには相当の財源を伴うので直ちに施行できない現状です。しかし、このままでは危険でこの対策に苦慮していますが、何らかの措置を講じよう努力します。

問 町道で他の地区にもこのような落石の危険箇所があるが、コンクリートの吹付けまたは防石ネットの工法で落石の防止を施行するには相当の財源を伴うので直ちに施行できない現状です。しかし、このままでは危険でこの対策に苦慮していますが、何らかの措置を講じよう努力します。



羽坂神社下側溝

問 池野、白樫線に排水溝がないため排水が悪い。何らかの措置を講じてほしい。(追野内)

答 現地を調査し対策を講じることとします。

問 国道四四六号線の羽坂神社下附近に側溝を設置してほしい。(羽坂)

答 羽坂バイパス完成後は、東郷橋から卸児にかけての国道が町道に下げられ、その後は町道として管理することとなるので、この区間の側溝等の整備は、機会ある毎に日向土木事務所へ要請します。

問 井尻、上野原線のコンクリート舗装の路面に悪い箇所があるが、補修できないか。(羽坂)

答 現地を調査し対応します。坪谷川右岸(小長野下)の河川敷が崩れている。

問 復旧工事はできないか。(羽坂)

答 日向土木事務所の河川災害係に連絡し、現地の調査を依頼します。

問 町道羽坂・深瀬線に農業用水パイプラインの埋設で路面の低下している箇所があるが、補修できないか。(羽坂)

答 町内の各地で町道敷を利用し農業用水及び簡易

問 国道四四六号線の日下道下道地区の排水が悪く人家に浸水する。対策を講じてほしい。(羽坂)

答 水道用の配管が埋設され、このような状況が発生しています。この対策として特に路面の悪い箇所については、原因者及び町において部分的な補修を実施していますが、今後も現地調査の上対応します。

問 日下道・ワラビノ線及び国道四四六号線沿いの日下道地区の排水が悪く人家に浸水する。対策を講じてほしい。(羽坂)

答 国道四四六号線の日下道地区の道路排水については、日向土木事務所申し入れにより部分的な改修が近く行なわれる予定です。町道日下道・ワラビノ線の排水処理は近く改良工事を行なうので、大型側溝と大型ヒューム管を布設し解消を図る考えです。



前田、大工野線

問 前田・硯野線は重量制限がしてあるのに耳川の災害復旧工用の大型車両が通行するが、維持管理に問題はないのか。(鶴野内)

答 耳川河川敷の決壊に伴う災害復旧工事のためこの道路を大型タンク車が通行することとなったものです。今回の工事が災害復旧工事であること、急ぐ工事であることや、他に搬入道路がないため現道を部分的に補強工事をした上で通行を許可しました。

問 前田・大工野線と鶴野内・東下線が交差する四差路にカーブミラーの設置をしてほしい。また、交叉点の幅員が狭い。(鶴野内)

答 早速設置することにし、す。交差点の幅員は調査の上検討します。

問 前田・大工野線の改良は何年計画か。(鶴野内)

答 六十四年度から公共事業等を導入し継続事業として改良を計画していますが、国の補助金等の関係があるので確定はしていません。一応四年位で改良を済ませたいと思います。

問 山陰バイパス(仮称)建設計画はどうなっているのか。(鶴野内)

答 羽坂バイパスが六十四年二月には全線開通の予定

であり、その後の対策として山陰バイパス(仮称)の建設促進を図る必要があるため、建設促進期成同盟会を結成し、関係方面へ陳情活動を強力に推し進める予定です。

問 鶴野内地区から山陰の市街地を通り、小野田、仲野原、出口に通ずる約六キロメートルの区間が幅員が狭いカーブが多く、大型車両の増加と交通量の激増で常に危険な状況にあります。この緩和を図るうえからも早急にバイパスの建設が望まれています。地域住民、地元商店会も賛意を表わしており、開設に向けての体制づくりを急ぎたいと思います。

問 向原・落鹿線の改良計画はないのか。(寺迫)

答 山ノ口・福瀬大橋線の改良を寺迫小学校前四差路を起点に、ゴルフ場入口までの約二千メートルの内、坂内橋手前までを一工区として現在工事中です。向原・落鹿線の全面改良を行うことは財政的に容易ではありませんが、特に危険な箇所については部分改良を検討したいと思います。

問 町道の交通規制はできないか。(寺迫)

答 町道の管理上、危険箇所については交通止め又は重量制限等の規制をして交通安全

全の確保に努めています。一時停止、速度制限、追い越し禁止等の運行規制は、公安委員会が地域住民の意見を聞いたうえで規制しています。地域住民の多数の方が規制を望むものであれば対応します。

問 松尾下・庭田線の拡張計画はないか。(寺迫)

答 拡張の計画はありませんが、プロイラー関係の大型車両が通行する際離合が困難な状況にあるので、部分拡張で車の離合箇所の確保を図ります。

問 町道の維持管理が不十分である。草刈りの計画はどうなっているのか。(寺迫)

答 町道が現在一〇二路線で延長百四十九キロメートルありこの維持管理が容易でなく、各区毎に道路愛護を呼びかけ関係地域住民の協力で年一、二回の草刈りをお願いしています。

問 主要路線から重点的に草刈り側溝の清掃に当たっていますが、予算的な面もありどうしても管理に不十分な路線がありますが、御理解戴きたいと思えます。特に寺迫に係る町道は一四路線で全体の一四、延長は四十六キロメートルで全体の三二%と多いので、地域住民に維持管理の面で御無理を願っています。交通安全の上に支障がある箇所

については早急に対応しその解消に努めています。

町道の維持管理



問 長崎集会所入口近くの道路排水が悪い。(寺迫)

答 集会所下入口の町道の排水工事は本年度事業で施行済みであり、長崎集落からの排水が集落の里道を通って流れており、この排水処理が不十分なためと思われま。集落内の排水処理の問題を含んでいるので、地域住民間で十分話し合っ

問 県道仲野原・美々津線は砂利運搬の大型車両の通行で危険であるが、改良計画はないか。(寺迫)

答 福瀬の集落地域を避けて河川寄りにバイパス開設の計画で本年度に用地買収が終了し、一部広瀬側から工事に着

仲野原〜美々津線



十四日に行なわれました。(東郷橋・稲葉野線に路面の悪い箇所がある。改善してほしい。)

問 東郷橋・稲葉野線に路面の悪い箇所がある。改善してほしい。(田野)

答 路面の特に悪い箇所については補修いたします。日ヶ道・ワラビノ線の改良計画は。(田野)

問 本年度も引続き改良工事を行ない、全線の改良を終える予定です。

答 越表橋・下渡川線の崩土防止に種子の吹付けはできないか。(下渡川)

問 この路線は急坂なうえに切取り面の勾配が急で、冬期の霜解けにより崩土を生じ通行に支障があり危険なので、調査の上種子吹付けで崩土防止が可能な箇所については、検討します。

答 広瀬護岸のかさ上げができないか。できなければ福瀬大橋下流の河川の中の岩の取り除きはできないか。(福瀬)

問 県単河川関係事業の要箇所として、日向土木事務所管内の他地区とともに要望していますが、現在の所そのままです。引き続き要望していきます。河川敷きの岩の取り除きは、効果の面と、技術的に可能なのかどうかの調査を日向土木事務所へ依頼し、その後で対応します。

答 県単河川関係事業の要箇所として、日向土木事務所管内の他地区とともに要望していますが、現在の所そのままです。引き続き要望していきます。河川敷きの岩の取り除きは、効果の面と、技術的に可能なのかどうかの調査を日向土木事務所へ依頼し、その後で対応します。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。(東郷大橋の開通式は、十一月

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 国道四四六号線バイパス路線の早期開通を働きかけてほしい。(田野)

答 国道四四六号線バイパス路線の早期開通を働きかけてほしい。(田野)

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

山ノ口・福瀬大橋線の排水が田に入るが善処願いたい。(福瀬)

問 山ノ口・福瀬大橋線の排水が田に入るが善処願いたい。(福瀬)

答 道路排水の問題は本人からも申し入れがあり、現地調査を実施しており何らかの処置を講じ改善したいと思っております。

問 福瀬バイパス工事が始まるが、交通緩和を図るため町道上村・崎山線の拡幅改良はできないか。(福瀬)

答 福瀬バイパス工事は、耳川寄りに開設する計画で福瀬集落入口から宮ヶ原渡舟場までの現道の通行には、大きな支障はないと思います。また、宮ヶ原渡舟場から広瀬大橋先までは山を掘削することになるので、制限があれば時間制限的なもので全面的な交通止めはしなくても工事は進められるものと思います。上村・崎山線の改良計画は現在のところありません。国道三二七号線に自転車用の道路はできないか。(福瀬)

問 県単河川関係事業の要箇所として、日向土木事務所管内の他地区とともに要望していますが、現在の所そのままです。引き続き要望していきます。河川敷きの岩の取り除きは、効果の面と、技術的に可能なのかどうかの調査を日向土木事務所へ依頼し、その後で対応します。

答 県単河川関係事業の要箇所として、日向土木事務所管内の他地区とともに要望していますが、現在の所そのままです。引き続き要望していきます。河川敷きの岩の取り除きは、効果の面と、技術的に可能なのかどうかの調査を日向土木事務所へ依頼し、その後で対応します。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

出口地区にガードレールを設置してほしい。(福瀬)

問 出口地区にガードレールを設置してほしい。(福瀬)

答 現地調査を対応します。間溝川(二級河川)の補修はどうなっているのか。(福瀬)

問 日向土木事務所に連絡し災害箇所の現地調査を実施しました。災害箇所は、災害復旧工事に対応することです。

答 日向土木事務所に連絡し災害箇所の現地調査を実施しました。災害箇所は、災害復旧工事に対応することです。

問 福瀬・鶴戸木集落内の道路改良の計画はないのか。(福瀬)

答 福瀬・鶴戸木集落内の道路改良の計画はないのか。(福瀬)

問 広瀬・鶴戸木線の改良を継続事業で実施していただきます。今後は、集落内を先にこなす。今後は、集落内を先にこなす。今後は、集落内を先にこなす。

答 広瀬・鶴戸木線の改良を継続事業で実施していただきます。今後は、集落内を先にこなす。今後は、集落内を先にこなす。今後は、集落内を先にこなす。

問 仲野原線の危険箇所は、ガードレールを設置してほしい。(福瀬)

答 仲野原線の危険箇所は、ガードレールを設置してほしい。(福瀬)

問 現地を調査し対応します。

答 現地を調査し対応します。

問 児洗・つづら内線を改良中であるが、今後の計画について伺う。(越表)

答 児洗・つづら内線を改良中であるが、今後の計画について伺う。(越表)

問 継続事業で改良を進めています。六十三年度事業で延長二百四十メートル、幅員四・五メートルの改良工事を施行中であり、今後も引き続き改良

答 継続事業で改良を進めています。六十三年度事業で延長二百四十メートル、幅員四・五メートルの改良工事を施行中であり、今後も引き続き改良

を進める予定です。国道四四六号線田口原地区の側溝排水の流れが悪い。(越表)

問 国道四四六号線田口原地区の側溝排水の流れが悪い。(越表)

答 日向土木事務所に連絡し現地を調査するよう依頼します。

問 中水流・宝瀬の内線の路面が悪いが、補修できないか。(越表)

答 中水流・宝瀬の内線の路面が悪いが、補修できないか。(越表)

問 沖田頭首工に魚道を設置していただきたい。(田野)

答 沖田頭首工に魚道を設置していただきたい。(田野)

問 本施設は昭和六十一年度土止工として設置された施設であり、相当高低があり現状ではむずかしいようです。

答 本施設は昭和六十一年度土止工として設置された施設であり、相当高低があり現状ではむずかしいようです。

問 坪谷川地区営農飲雑用水施設の仲崎貯水槽の余剰

答 坪谷川地区営農飲雑用水施設の仲崎貯水槽の余剰

問 現在、農村総合整備モデル事業で集落道路が計画されているので、事業採択になれば実施します。

答 現在、農村総合整備モデル事業で集落道路が計画されているので、事業採択になれば実施します。

問 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

答 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

問 関係者と協議して対応いたします。

答 関係者と協議して対応いたします。

問 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

答 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

問 国庫補助事業で予算配分に影響されますが、昭和六十五・六十六年度中には給水されると思います。

答 国庫補助事業で予算配分に影響されますが、昭和六十五・六十六年度中には給水されると思います。

問 沖ノ水地区の集排水施設は、どのような目的で設けられたか。(羽坂)

答 沖ノ水地区の集排水施設は、どのような目的で設けられたか。(羽坂)

問 集落の生活環境の整備を図るため、一部雑排水が用水に流れ込んでいますので、雑排水を分離して処理することにしました。

答 集落の生活環境の整備を図るため、一部雑排水が用水に流れ込んでいますので、雑排水を分離して処理することにしました。

問 庭田地区一般農道整備事業について。(寺迫)

答 庭田地区一般農道整備事業について。(寺迫)

問 受益者と事前協議を。②完成後は町道に編入できるのか。③危険箇所はガードレールの設置を。④庭田の方から着手した理由。

答 受益者と事前協議を。②完成後は町道に編入できるのか。③危険箇所はガードレールの設置を。④庭田の方から着手した理由。

問 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

答 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

問 関係者と協議して対応いたします。

答 関係者と協議して対応いたします。

問 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

答 坪谷川地区営農飲雑用水施設の給水は、羽坂区はいつ頃になるのか。(羽坂)

問 現在、農村総合整備モデル事業で集落道路が計画されているので、事業採択になれば実施します。

答 現在、農村総合整備モデル事業で集落道路が計画されているので、事業採択になれば実施します。

仲野原〜美々津線



十四日に行なわれました。(東郷橋・稲葉野線に路面の悪い箇所がある。改善してほしい。)

問 東郷橋・稲葉野線に路面の悪い箇所がある。改善してほしい。(田野)

答 路面の特に悪い箇所については補修いたします。日ヶ道・ワラビノ線の改良計画は。(田野)

問 本年度も引続き改良工事を行ない、全線の改良を終える予定です。

答 越表橋・下渡川線の崩土防止に種子の吹付けはできないか。(下渡川)

問 この路線は急坂なうえに切取り面の勾配が急で、冬期の霜解けにより崩土を生じ通行に支障があり危険なので、調査の上種子吹付けで崩土防止が可能な箇所については、検討します。

答 広瀬護岸のかさ上げができないか。できなければ福瀬大橋下流の河川の中の岩の取り除きはできないか。(福瀬)

問 県単河川関係事業の要箇所として、日向土木事務所管内の他地区とともに要望していますが、現在の所そのままです。引き続き要望していきます。河川敷きの岩の取り除きは、効果の面と、技術的に可能なのかどうかの調査を日向土木事務所へ依頼し、その後で対応します。

答 県単河川関係事業の要箇所として、日向土木事務所管内の他地区とともに要望していますが、現在の所そのままです。引き続き要望していきます。河川敷きの岩の取り除きは、効果の面と、技術的に可能なのかどうかの調査を日向土木事務所へ依頼し、その後で対応します。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

答 羽坂バイパスの全線開通は六十四年二月の予定ですが、東郷大橋はそれ以前に開通し児童・生徒の通学と、耳川林業木材加工工場に搬入する木材運搬車等を通行させるよう申し入れをしています。

問 用水路の災害復旧工事をした結果、工事現場に行く道がなく、他人の土地を業者が借りて関係者と業者で土地使料を支払った。そういう事があってもよいのか。(仲深)

答 一般的には設計積算の中で補償損料をみる事ができるが、耕地災害では地元申請事業であることから補償損料が認められる事はありません。(当地区は地元協議済である。)

問 耕地災害復旧工事は、公共災害復旧の一箇所の工場の費用が三十万円以上のものをいいます。補助率は一般災害の場合、農地五割、農業用施設六五割です。町単独災害復旧は、一箇所の工事費用が五十万円以上、三十万円未満のものをいいます。補助率は工事費の七〇%以内です。

問 災害復旧工事で実施した所が翌年また災害にあったが、設計、施行にミスがあったのではないか。(仲深)

答 工事設計書は、専門的工事設計基準に基づいて行なっているため、設計書は全面的信用したいと思いません。なお検査は設計書通り完成しているか確認しています。質問の箇所は特殊な場合としか考えられません。

問 現場整備事業を実施したのが、湧き水があり裏作ができないので何とか処理してもらいたい。(小野田、鶴野内、羽坂)

答 現場整備事業実施後は、地下水の移動で湧き水等があり、地区によりいろいろな問題があるが、受益者の同意があれば、町単独土地改良事業で対応できます。

問 昭和五十六年度は現場整備した池田地区の排水路(谷兼用)に、土砂が堆積しているので何とかしてもらいたい。(迫野内)

答 受益者負担がありますが町単独土地改良事業で対応

問 現場整備事業実施後は、地下水の移動で湧き水等があり、地区によりいろいろな問題があるが、受益者の同意があれば、町単独土地改良事業で対応できます。

問 昭和五十六年度は現場整備した池田地区の排水路(谷兼用)に、土砂が堆積している

答 受益者負担がありますが町単独土地改良事業で対応

問 現場整備事業実施後は、地下水の移動で湧き水等があり、地区によりいろいろな問題があるが、受益者の同意があれば、町単独土地改良事業で対応できます。

問 昭和五十六年度は現場整備した池田地区の排水路(谷兼用)に、土砂が堆積している

答 受益者負担がありますが町単独土地改良事業で対応

問 現場整備事業実施後は、地下水の移動で湧き水等があり、地区によりいろいろな問題があるが、受益者の同意があれば、町単独土地改良事業で対応できます。

答 受益者負担がありますが町単独土地改良事業で対応



現場整備事業後の裏作物



羽坂農免道路新羽坂橋



坪谷川地区営農飲雑用水施設

教育委員会関係

ます。受益者の協力がぜひ必要であり、関係者と十分協議の上着手することになります。②一定期間を経過すれば町道に編入できます。③調査の上、設置できるように検討いたします。④受益者と協議し、幅員、路面等の条件の悪い方から着手しました。

問 越表地区に幼稚園、保育所の開設はできないか。(下渡川)

答 幼児人口と財政事情によりここ当分の間開設はできません。

問 高齢者教室の開設はできないか。(下渡川)

答 新たに教室を開設することとは無理ですが、内容によっては移動教室も考えられますので、来年度で検討したいと思います。

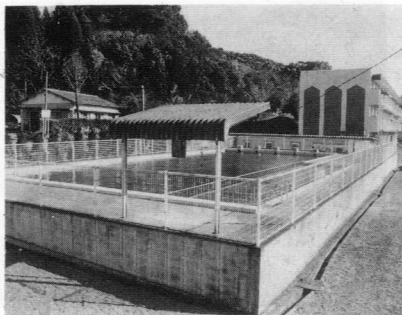
問 坪谷小プール用の揚水施設をしてほしい。(坪谷)

答 来年度に検討したいと思えます。

問 民俗資料を調査し保存の必要があるのではないかと。(羽坂)

答 来年度予算に調査費の計上をする予定です。

坪谷小プール



問 教職員の町内居住はできないか。(田野)

答 生活権問題は種々困難な問題が多いですが、できるだけ町内に居住するように指導して行きたいと思えます。

問 東郷小学校校庭西側の土手が崩壊していて危険物が水田に入るので補修してほしい。(鶴野内)

答 現地を調査して補修の必要があれば補修工事を行いたいと思えます。

病院関係

問 病院経営の状況はどうか。(小野田・八重原)

答 病院経営に要する経費はその経営から生じる収入

をもってまかなうという、いわゆる独立採算性をもっております。経営のかなめである医師は内科、外科ともに県からの派遣による自治医科大学卒業の医師で診療にあたっております。経理の状況は、六十二年度については決算の認定を受けていないので、公表はできませんが、欠損金を生じていることだけは申し上げます。なお、六十三年度、単年度については推計の数値ですが、収入、支出ともにほぼ同額の決算を見込んでおります。

問 患者が少ないように見受けられるが、その対策はどうか。(田野)

答 減少の原因は、医師の交替による患者との意思疎

通が充分でないこと、また、患者の専門的医療への志向等が考えられるが、なかならず医師と患者の信頼関係に負うところが大きく、その確立を図ることが肝要であり、職員全員でその雰囲気づくりに努めているところであります。

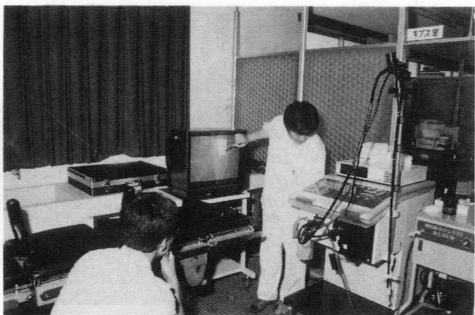
一方、六十二年度は電子内視鏡を導入し、病変の早期発見と治療の充実を図ってまいりましたが、胃癌をはじめ多数の病巣の発見や予防に機能を発揮し、患者増の一助につなげたいと考えております。

問 病棟周囲に相当の補修を要する箇所が見受けられる。整備が必要ではないか。(田野)

答 整備が必要ではないか。



東郷病院待合室



電子内視鏡

答 建物の内外に補修箇所が相当あり、特に数年前の地震による被害が多く、側溝や大走り等に亀裂を生じています。一部は補修済のところもありますが、残りについては年次計画で整備を図っていききたいと思います。

問 公民館内に出張診療所の開設はできないか。(坪谷)

答 以前、一時期実施した経緯がありますが、当時と現在では医療理念、医療環境、診療内容等の変化、及び要員等の関係から現段階での実施は困難であると思えますが、内部で検討してみます。



町報「町政懇談会特集号」をお届けします。内容について更に詳しく知りたい所や、分かりにくい所がありましたら各担当課へお問い合わせください。